

# 大学図書館と公共図書館との 地域連携

第60回長野県図書館大会  
2010年10月30日(飯田文化会館)

信州大学 附属図書館  
副館長 郷 原 正 好

# 本日の進め方

- 13:10～ 大学図書館と公共図書館との地域連携
- 14:00～ 研究討議(地域連携)
- 14:30～ 休憩
- 14:40～ 大学専門図書館部会のあり方  
自由討議
- ～15:10 終了

# 本日の進め方

- はじめに(信州大学附属図書館と三市図書館との連携事例)
- 公共図書館との連携内容(三市図書館)
- 大学図書館の視点から
- 公共図書館の視点から
- 三市図書館との連携:まとめ
- その他:信大図書館・信大病院での地域連携
- 私立大学図書館での地域連携事例
- 鳥取県での地域連携事例
- 研究討議(研究連携)

# はじめに

- 信州大学附属図書館と松本市・塩尻市立・安曇野市の3市図書館と連携協力を行うための協定を締結（2010年7月15日）
- 協定目的：地域と密接な関係を築き、相互利用等により資料の共有化を図る
- 大学図書館と公共図書館の連携により、その利点・課題を探り、大学図書館としての地域連携の意義を考える

# 公共図書館との連携内容

## □相互貸借(7~10月) ※松本・安曇野7/16~10/20 塩尻7/29~10/20

- 三市→信大45件、信大→三市3件

## □OPACでの相互リンク

- 信大の場合:検索結果画面の下に表示

「県内の連携している公共図書館(松本市、塩尻市、安曇野市、伊那市)の蔵書を検索します。」4市の検索画面表示とリンク

## □貸出資料の返却サービス(7~10月)

- 三市→信大24件
- 信大→三市144件(松本市がほとんど)

## □共催イベント・職員研修の実施

- 本日、信大附属図書館長が松本市図書館で講演

# 大学図書館の視点から

- 大学図書館の一般開放：専門書の提供
- 大学図書館に少ない一般書やベストセラー本を学生へ提供
- 学生は図書館の資料を手軽に返却できる（返却ポイント）
- （マイナス面）市民が多く来るトラブル
  - ①学生が人気本を借りることが難しくなる
  - ②ジャーナルやデータベースの利用希望者への対応

# 公共図書館の視点から

- 公共図書館に少ない専門書を大学図書館が提供
- 市民は大学図書館の資料を手軽に返却（返却ポイント）

# 三市図書館との連携：まとめ(1)

## □公共図書館との連携を行う上での注意点

- 大学図書館と公共図書館のルールが異なっていたために共通ルールを決めた
  - 資料の輸送(発生払い)
  - 資料の汚破損
  - 資料申し込み時の事務処理
  - 返却サービスの返却資料の扱い

# 三市図書館との連携：まとめ(2)

□市共通ルール化することで、業務負担を最小限にする

- 取り扱い要領
- 資料サービスに関する申し合わせ

□今後の課題

- 資料輸送コストの問題
- 分散キャンパスである信州大学の特性を生かす
- 各キャンパスを拠点とした公共図書館への展開
- 松本地域から県広域に拡大・サービスすること

# その他：信大図書館での地域連携（1）

## 文化的連携

### □地域資料・各種コレクション収集・研究（講演会）

#### ●電子化・公開

小谷コレクション（近世日本山岳関係DB）

石井鶴三コレクション（美術品、挿絵他、図書・雑誌）

信州大学繊維学部デジタルアーカイブ

（上田蚕糸専門学校等の貴重資料を中心とした資料）

### □県立・市立美術館・博物館等との企画展示

大学のコレクション公開（絵画、山岳資料等）

### □遺跡調査報告書等をリポジトリに蓄積・インターネット発信

#### ●流通が限定される資料

長野県は日本有数の遺跡数：1万5千

今年度は県や各市町村の資料登録：千冊目標

今年度は20大学が参加

サーバー立ち上げ

# その他：信大図書館での地域連携（2）

## 学術的連携

地域共同リポジトリによる地域大学の学術発信

□平成22年度に信州地域共同リポジトリの立ち上げ

□キックオフミーティング（9月13日）

（平成22年10月29日現在で9校が参加）

上田女子短期大学（新規10月26日）

佐久大学・信州短期大学

信州大学

長野県看護大学

長野工業高等専門学校

長野大学

清泉女学院大学・清泉女学院短期大学

□各大学に電子化希望対象物の募集（11月上旬）

□地域ワークショップの開催（今年度は2回くらい）

# その他：信大図書館での地域連携（3）

## 専門領域での連携 医学系分野の場合

### 地域医療への学術情報のサポート

（データベース・電子ジャーナル・ILL）

- ・地域医療の学術情報提供の質的向上を図るためのインフラ整備

- ・JDream II（科学技術・医療・薬学関係DB：JST（科学技術振興機構）のコンソーシアム契約

平成22年度 19病院（課題：参加病院の拡大）

（同時1アクセス10万円、同時2アクセス15万円）

- ・文献複写サービス（JDream II コンソーシアム館対象）

Web、FAXにより申込み 21年度1,375件 年々増加  
依頼雑誌は雑誌で学会誌、外科系雑誌が多い

# その他：信大病院での地域連携

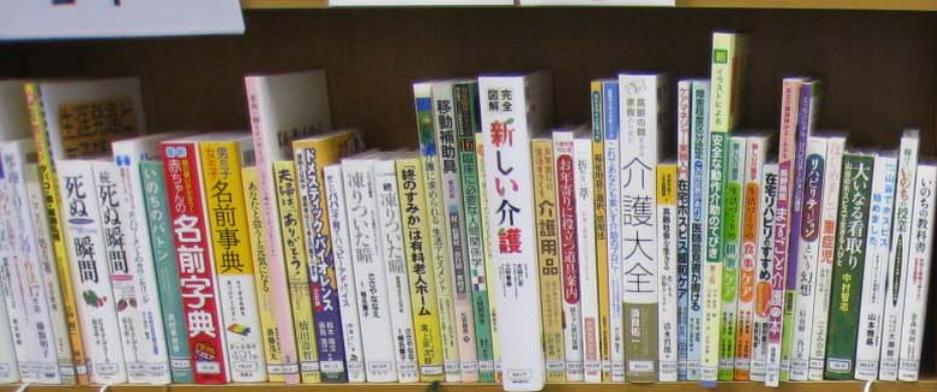
## 専門領域での連携 医学系分野の場合

### 附属病院に患者図書室を設置

(こまくさ図書室：約50m<sup>2</sup>：21年5月開設)

- 開館時間：月～金 9:15～16:00
- 司書2名 午前午後交代
- 附属病院新外来棟1階
- 患者図書室選書1500冊
- 松本市図書館から団体貸出(3300冊)
- 月平均21年度約1000冊→22年度約1300冊増
- 利用者21年度約400人→22年度約500人増
- 医学図書館との連携(図書購入など)







日本のよみもの

まるをさがし

水戸

SHOGAKU

# 私立大学図書館での地域連携事例

## □城西大学図書館：

- ライブラリーカード会員制度を制定（1年間千円2週間5冊）
- 近隣市（鶴ヶ島市、毛呂山町、坂戸市、日高市、越生町、飯能市）図書館との連携
  - 図書館活用講座の共催（市図書館の市民向け講座で「大学図書館を知ろう」を実施）
  - 公開講座の共催（大学は会場と講師を提供：市民向け文学講座）
  - 共同レファレンス研修会（大学が会場：大学市各館が持つ郷土資料やコレクションを知る、各館のレファレンス事例の紹介）

※参考文献：未来を開く図書館ネットワーク：埼玉県図書館連携活動報告書  
[libir.josai.ac.jp/infolib/user\\_contents/pdf/JOS-SALA201003.pdf](http://libir.josai.ac.jp/infolib/user_contents/pdf/JOS-SALA201003.pdf)

## □神戸女子大学図書館：高校生への開放

須磨キャンパス図書館では高校の女子生徒の一般開放（2010年8月）

# 鳥取県での地域連携事例(1)

## □ 鳥取大学との連携機関

- 鳥取県立図書館、鳥取市立図書館、米子市立図書館、境港市民図書館、倉吉市立図書館、南部町図書館、鳥取環境大学情報メディアセンター、鳥取短期大学図書館、米子高専図書館(9機関・県内250万冊の相互利用)
- 県の配送システムによる資料輸送の無料化
- 県立図書館との連携で県高校に図書貸出
- 県図書館と短期人事交流(1週間程度:相手館の業務を知る)
- 公共図書館との共同研修会の実施(PPT・HP作成)
- 講演会・公開展示の開催

# 鳥取県での地域連携事例(2)

## □鳥取県の図書館連携による効果

- 県民の図書館への信頼・期待度がアップ
- メディアの注目、大学・市図書館の認知度の向上
- 図書館サービスの意識改革の向上
- 図書館職員のレファレンス力の向上
- 図書館間の連携・協力が各図書館職員に生まれた

※参考文献:愛媛大学学術講演会資料:<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/EHIME/koenkaikiroku.html>

「大学図書館と公共図書館との連携」鳥取大学附属図書館 松本秀毅 H19.2.22

# 研究討議(地域連携)

- 地域連携は国立大学の役割？私立大学だって・・・
- 私立大学図書館は公共図書館と連携出来る？
- 連携のメリット？
  - 図書の購入分け・専門書は大学図書館へ
  - 図書館職員専門研修
  - リポジトリの活用
- 連携のデメリット？
  - 図書：資料輸送コストの経費問題
  - 連携による業務量の増加
  - 企画が一方通行